

琉球音楽にまつわる「しまくとぅば」について
解説を交えてお届けします。

第3回
講演会



演 題：琉球音楽に息づく しまくとぅば

講 師：照喜名 朝一 (国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」保持者)

聞き手：金城 裕 幸 (沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻 OB)

幕あけ 1、語り組踊「二童敵討」～別れの場～
2、組踊抜粋舞踊「波平大主道行口説」

出演：沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻 教員、学生

日 時 平成30年7月13日(金) 19時開演 (18時30分開場、21時終演予定)

場 所 沖縄県立芸術大学 奏楽堂
那覇市首里当蔵町1-4

主 催 沖縄県立芸術大学附属研究所

問い合わせ ☎098-882-5615

※当日先着入場、整理券は発行致しません
※ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい

無料

先着250席

平成30年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業
芸能から受け継ぐ「^{ふく}誇るじや しまくとぅば」

講師略歴

てる き な

ちょう い ち

照喜名

朝一

(国指定重要無形文化財「琉球古典音楽」保持者)

琉球古典安富祖流音楽研究朝一会 総帥

1932年沖縄県南城市知念知名生まれ。幼少の頃から三線に親しみ、25歳から本格的に古典音楽を、安富祖流師範宮里春行に師事。沖縄県内新聞社主催のコンクール入賞を経て79年日本国文化庁主催音楽部門優秀賞受賞。83年松尾芸能振興財団第四回松尾芸能賞民族音楽特別賞受賞。94年より安富祖流絃聲会会長を6年間務める。2000年沖縄の芸能部門で初めて(琉球古典音楽)で重要無形文化財各個(人間国宝)に認定。18年、琉球古典音楽安富祖流絃聲会より同会名誉会長の称号を受ける。

県内外や海外で指導・演奏を行い、世界に琉球芸能を紹介している。また、後継者育成にも力を入れ創作活動にも意欲的に取り組んでいる。



幕あけ 1、語り組踊「二童敵討」～別れの場～

2、組踊抜粋舞踊「波平大主道行口説」

出演：沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻 教員、学生

〈配役〉 語り組踊「二童敵討」

あまおへ 仲嶺伸吾

母親 阿嘉 修

鶴松 高里風花

亀千代 伊波留依

〈地謡〉

歌三線 仲嶺良盛、棚原健太、佐久本 純

笛 入嵩西 諭

太鼓 下地心一郎

波平大主道行口説 踊り 上原崇弘

講演メモ

平成30年度沖縄県立芸術大学しまくとうば実践教育プログラム開発事業
第4回講演会 芸能から受け継ぐ「誇^ふりひゃ しまくとうば」

会 場 沖縄県立芸術大学 奏楽堂

期 日 11月9日(金)午後7時(予定)

問い合わせ 沖縄県立芸術大学附属研究所 ☎098-882-5615